

芦別市立中学校統合準備委員会（第1回） 会議録

- 1 日 時 令和4年5月16日（月）午後6時00分～午後6時50分
- 2 場 所 芦別市役所 第1会議室
- 3 出席者 別紙「委員名簿」のとおり。
- 4 会議概要

- (1) 開会（学務課長）

- (2) 教育長あいさつ（福島教育長）

皆様におかれましては、何かとご多忙の折、中学校統合準備委員会の委員をお引き受けいただきましたこと、加えまして、夕刻のお忙しい時間帯にもかかわらず、ご出席をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

P T A役員並びに青少年育成連絡協議会役員の皆様におかれましては、常日ごろから本市の学校教育や社会教育の推進に対しまして様々な観点からご支援、ご協力をいただいておりますこと、そして、何より子どもたちの健全育成に向けまして、活発な取組をいただいておりますことに心から敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

また、各学校の校長、教頭の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、日々、学校経営に特段のご尽力をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

さて、令和6年4月の中学校統合に向けましては、円滑に統合を進めさせていただくとともに、統合による教育環境の整備や教育の充実を図るため、統合準備委員会を設置させていただいたところでございます。

教育委員会といたしましては、学校の統合に当たり、とりわけ大切なことは、どんな学校にしていくのかということであると考えております。皆様、ご承知のとおり、このたびの中学校の統合につきましては、よりよい教育環境を確保し、社会性の涵養などを図ることの必要性から、望ましい規模の集団の中で生徒を育ていこうとするものでございます。

このため、教育活動の実践におきましては、両中学校の良き伝統や校風、さらには両中学校で実践してきている取組をそれぞれ持ち寄り、そしてそれらを融合させて、義務教育の後期3年間において、子ども達がそれぞれの目標や夢に向かって充実した学校生活を送ることができる、そんな中学校にしていくことが極めて大切であると考えている

ところでございます。

このようなことから、統合準備委員会におきましては、多岐にわたる事項につきまして協議していただくことになるところでございますが、次代を担う子ども達に、この学校に通ってよかったと思ってもらえること、そして保護者が通わせてよかったと思ってもらえるような中学校の基盤づくりに向けまして、皆様の特段のご尽力をお願い申し上げます。皆様、どうぞよろしく願いいたします。

(3) 自己紹介

出席委員それぞれから自己紹介を行った後、事務局職員の自己紹介を行った。

また、学務課長から、学校運営協議会からの委員について、今年度の各中学校区での運営協議会がまだ開催されていないことから、本日は、事務局校の教頭先生に出席していただいていること、次回の準備委員会までに委員の選出をお願いし出席していただく予定としていることを説明。

(4) 説明（準備委員会の設置目的・組織等について）

- ① 学務課長から、中学校統合決定までの経過について概略を説明した後、準備委員会の設置目的・組織等について別紙1及び別紙2の資料に基づき説明した。
- ② （質疑） 特になし。

(5) 会長・副会長の選出

- ① 学務課長から、準備委員会設置要綱第5条に基づき、会長と副会長各1名を置くこととしており、その選出方法について、委員に質問したところ、特に意見がなかったことから、事務局案として、会長は芦別中学校校長の河戸 悟氏、副会長は啓成中学校PTA会長の中村沙織氏をお願いすることとして了承を得た。
- ② 河戸会長から、次のようなあいさつがあった。

子ども達や地域にとって最良の統合となるように精一杯努めてまいりますので、よろしく願います。
- ③ 中村副会長から、次のようなあいさつがあった。

統合に向けて、子ども達が抱えている不安を少しでも軽減させ、また、統合後も子ども達が安心して学校に通えるような準備委員会になればいいなと思っている。そのサポートをしつつ、皆さん達と様々な意見を活発にかわしていけたらいいなと思っています。よろしく願います。

(6) 協議

これ以降、河戸会長により進行した。

① 協議事項について、及び、部会の設置と部会での協議事項について

ア 学務課長から、別紙3の資料により準備委員会での協議事項について説明した。

また、協議の内容によっては、部会を設け、その部会で協議した内容を準備委員会で確認、協議、決定した方がよいと思われる事項があると考えていることから、準備委員会における協議の進め方等について、別紙4の資料により説明した。なお、部会の構成メンバーについては、協議する案件により中学校両校のみのメンバーで十分な場合もあると思われるほか、小中学校4校の関係者が必要となる場合も考えられるが、協議する案件により柔軟に対応してもらいたいと考えていることを補足した。

イ 質疑

○ 中村副会長 別紙4で「地域での育成会の活動について」と書いてあるが、統合と育成会活動がどういうつながりで出しているのかについて説明してもらいたい。

○ 学務課長 中学校が一つになることによって、育成会の活動について、その部分で活動自体が統合されるような部分が出てくることが想定されたことから、協議事項としてあげているものである。実際、具体的にどういうものがあるのかまでは把握しきれていないことから、テーマの一つとして地域での育成会の活動が中学校が一つになることで影響することがないかということであげているものである。

○ 河戸会長 別紙4を見ると、学校部会で両中学校の先生方が中心となって部会を組むことになるのかなと思うが、その中で例えば学校行事、体育大会はこうだ、学校祭はこうだということを決める。それが即決定ではなくて、あくまでも検討議題ということで準備委員会に報告されるので、あくまで最終決定については準備委員会で協議して決定するという。だいたい、こういう流れになってくるということですね。

ウ 上記の質疑の後、承認。

② 準備委員会の協議スケジュールについて

ア 学務課長から、別紙5の資料により準備委員会の協議スケジュールについて説明した。

今年度中の開催とし、5回の開催を予定していること、8月に予定している第3回会議では、今年度後期から実施予定の児童生徒の交流について協議したいと考えていること、11月に予定している第4回会議では、統合に当たって準備をしなければならないもので予算を伴うものについては、11月の会議で協議決定し、その内容を受けて教育委員会として予算対応を検討していきたいと考えていることを説明した。

イ 質疑

- 水上委員 第4回、11月の準備委員会ですが、先ほど説明いただいた今後の対応予定の中では、予算要望が令和4年10月ころとなっていて、順番が逆になっている。要望したあとに、準備委員会での協議となっており、要望した後に協議をしても、なかなか対応が難しいのかなと思う。このスケジュールではどうか。
- 学務課長 今後の対応予定の記載が間違いであるので、修正願いたい。教委事務局の予算要求が4年10月となっているが、これは11月の間違いである。11月上旬に予定している準備委員会と順序が逆転するというので押さえていただきたい。

ウ 上記の質疑の後、承認。

(7) その他

- ① 河戸会長から、委員に対して「その他」事項を尋ねたが、特になし。
- ② 河戸会長から、事務局に「その他」事項を聞かれ、事務局・学務課長から、次回準備委員会の日程について6月下旬を予定し、後日、日程調整をさせていただくことを説明した。

(8) 閉会

河戸会長が閉会を宣言した。